

# 国際コミュニケーション専攻 各年次での到達目標／4 技能の運用能力

1年次	2年次	3年次	4年次
<p><b>【聞く】</b> 日常生活で出会う身近な話題について、情報の要点を的確に理解できる。聞き慣れた話し方で発音もはっきりしていれば、メッセージの細部も理解できる。</p> <p><b>【話す】</b> 自分の関心のあるさまざまな話題について、ある程度の流暢さで、簡単な記述やプレゼンテーションができる。</p> <p><b>【読む】</b> 自分の専門分野や興味に関連のある主題について、簡潔な事実関係のテキストを読んで、十分に理解できる。</p> <p><b>【書く】</b> 関心のある話題について、まとまった簡単なエッセーを書くことができる。自分の専門範囲の事柄について、情報を収集した上で総括し、報告できる。また、それに対し、自分の意見を提示することができる。</p>		<p><b>【聞く】</b> 抽象的で複雑な話題についての長い発話に十分についていける。幅広い慣用表現や口語体表現が理解できる。言語使用域の移行を正しく認識できる。</p> <p><b>【話す】</b> 複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。要約したり、論理的な話の展開ができる。</p> <p><b>【読む】</b> いろいろなテーマの高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。</p> <p><b>【書く】</b> 複雑な話題について、明確な構造を持ったテキストを書くことができる。重要点を強調したり、補助的事項、理由、関連する事例を詳細に加えたりして説得力がある議論を展開し、最後に適切な結論で終わることができる。</p>	
<p><b>【英語レベル】 TOEIC® L&amp;Rテスト 650点</b> (CEFR B1 レベル<sup>注</sup>に相当)</p>		<p><b>【英語レベル】 TOEIC® L&amp;Rテスト 800点</b> (CEFR B2 レベル<sup>注</sup>に相当)</p>	

注：CEFRのB1レベルとB2レベルに関する説明は2004年に刊行された『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』（吉島茂、大橋理枝他編訳）を参考にした。